

私道管理に区の関与を可能とする新条例を検討せよ

自由民主党議員団 市川 みのる



区内には、公共的な役割を担う私道が数多くある。その維持管理は所有者が行うことが原則で、権利者全員の承諾が得られない等の理由で工事等が行えないこともある。新たに私道を指定する際には、所有者の許可を必要としない旨事前に同意を求めると、私道管理に区の関与を強める条例を検討すべきでは。

区長 建築基準法で新たに指定される道路は、特定個人の建築を目的に築造されるものであり、道路から利益を得る者が私有財産として主体的に管理すべきものと考えている。既存道路についても同様となるが、関係権利者間の合意形成が必要とされる助言は、今後も積極的に行う。

千光前通り沿道と中野二丁目再開発を一体的に推進せよ

①再開発の現状と今後の予定は。②再開発事業と、隣接地区・千光前通り沿道地区のまちづくりを行う必要性をどう考えているか。③千光前通りは拡幅すべきではないか。

④地区計画等の事業手法を活用して、隣接地区から順次着手するのが有効ではないか。

区長 ①土地区画整理事業は平成27年度末までに、市街地再開発事業は28年度に事業化の予定である。その後、東京都住宅供給公社の建て替えや再開発ビルの建設に着手する。②再開発を着実に進めるとともに、隣接地区や千光前通り沿道地区のまちづくりを進める必要があると認識している。③すでに整備済みで、今後さらに拡幅することには困難である。④地域の状況や意向等を適切に踏まえ、可能なところから順次進めたい。

健康寿命を伸ばすためのインセンティブを検討せよ

公明党議員団 甲田 ちづる



区は委員会でスマートウェルネスコミュニティ協議会に参加するとの報告を行ったが、①参加を通じて、区民の健康増進のためどのような施策を作っていくのか。②協議会の議論を参考に、魅力的かつ効果的なインセンティブのあり方を検討し、無関心層が関心を持つわかりやすい形のポイント制度を創設してはどうか。

妊産・出産・子育てトータルケア事業は効果的な支援を

区では都の補助事業を活用し面談に来た妊婦にインセンティブとしてギフト券を配布するが、施策の根本的な意義を踏まえ、産後ケア事業の自己負担など実際の支援に使えるよう随時改善すべきでは。

子育て支援を

区長 子育て支援という事業趣旨を踏まえ、産後ケア事業や各種子育てサービスにも利用可能とする予定である。

平成26年度決算を問う

自由民主党議員団 伊藤 正信



平成26年度決算はアベノミクスによる景気回復の影響を受け、健全な決算であったと評価しているが、特別区税及び特別区交付金は前年度に比べ45億円増の682億円となり、過去最高額となった。一般財源が大幅に伸びたことをどのように捉えているか。

国の経済政策による

区長 国の経済政策による景気回復の影響の他、収納率向上対策の結果も要因の一つと考えるが、特別区税や特別区交付金は景気の影響を受けやすく、税制改正による法人住民税の一部国有化など今後の歳入状況は楽観できない。

空き家対策を進めよ

①空き家の情報提供について、町会に協力してもらうよう取り組んでは。②空き家対策特別措置法第6条にある計画の策定と同法第7条にある協議会設置の進捗状況は。

区長 ①町会・自治会の協力が重要と考えている。②現在、国の基本指針などを踏まえ区の取組方針を取りまとめており、空き家対策計画

豪雨災害に強いまち・中野を目指せ

自由民主党議員団 加藤 たくま



内閣府のプロジェクトの豪雨・竜巻予測技術の研究では、最先端技術を用いた水災害予測情報を防災無線、SNS等を介して住民に通知する社会実験を行う。予算不要でできるこの実験に参画してはどうか。また、豪雨災害に有効である、タイムライン(防災行動計画)を策定してはどうか。

豪雨・水災害予測

区長 豪雨・水災害予測の研究及びタイムラインは、区にとって有益であり、参画・策定に向けて検討したい。

大和町・弥生町地区の木密不燃化特区への支援を

避難道路沿道の住宅が建て替わると、その後背地は木造住宅が密集したまま残ってしまう街区も存在する。沿道と後背地の住宅を共同化できる

区立小・中学校再編による統合後の跡地活用策を示せ

自由民主党議員団 若林 しげお



①6年後に跡地となる新山小学校は、災害時は重要な避難場所となる。借地を含む学校が跡地になった際に手放すことがないよう、国庫補助金や都市計画交付金を財源とした区の取得も可能と考える。

跡地活用策を示せ

区長 ①取得の必要性や財源確保の見直しなどを総合的に判断しつつ、活用方法を検討したい。②10年間に生じる跡地は、10年計画で活用方法を示していきたい。

中野を誇りある「まち」へ

自由民主党議員団 加藤 たくま



徳川綱吉が創設の中野駅北口にあった犬屋敷は、生類憐みの令の悪法のレッテルから中野の黒歴史であったが、近年、同令は戦国時代からは正されないモラル改善のためにできた人権擁護、動物愛護の法律との解釈がある。犬屋敷の後は徳川吉宗が桃園を造り、日本初の一般人も入れる庭園として開放した。この歴史事実を授業等で広報しては。

ご指摘の歴史文化

区長 ご指摘の歴史文化は、中野の貴重な地域資源と

子ども体力向上を踏まえた基本構想・10年計画改定を

①年間を通して利用者の少ない中小公園を、キヤッチボール程度ができる公園として再生すべきである。計画に位置付けては。②募集人員に満たない「海での体験事業」は、回数や場所の選択肢を増やすなど大幅な改善が必要では。③臨海学園の復活が遅れるほど思い出づくりがでない子どもが増える。「臨海学園復活」を強く要望する。校長会等での検討はどうなったのか。

子ども体力向上を踏まえた

区長 ①中小公園でのキヤッチボールは危険もあるが、引き続き検討したい。基本構想・10年計画への反映は今後の議論の中で調整したい。

PTAメールによる保護者への情報提供や、参加者の少ない学校への働きかけを行う。

③校長会では復活について特段の意見はなかった。子どもの体力向上全般については検討を進めている。

区議会各会派のEメールアドレス

- 自由民主党議員団 jimintou.nakanokugikai@mbn.nifty.com
- 公明党議員団 kugidan@nakano-komei.net
- 日本共産党議員団 jcp.nakanokugidan@mbn.nifty.com
- 民主党議員団 n.minshu@mbr.nifty.com

